

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第34週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (34週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2例。
4類感染症：報告なし。5類感染症：急性脳炎 1例、破傷風 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	無症状病原体保有者	—
			60歳代	女	肺結核	咳
		延岡	30歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、O157(VT1,2産生)
		日南	10歳代	男	—	腹痛、血便、嘔吐、O157(VT1,2産生)
5類	急性脳炎	宮崎市	5~9歳	女	病原体不明	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害
	破傷風	日南	70歳代	女	—	筋肉のこわばり、開口障害、発語障害、痙攣

□ 定点把握の対象となる5類感染症

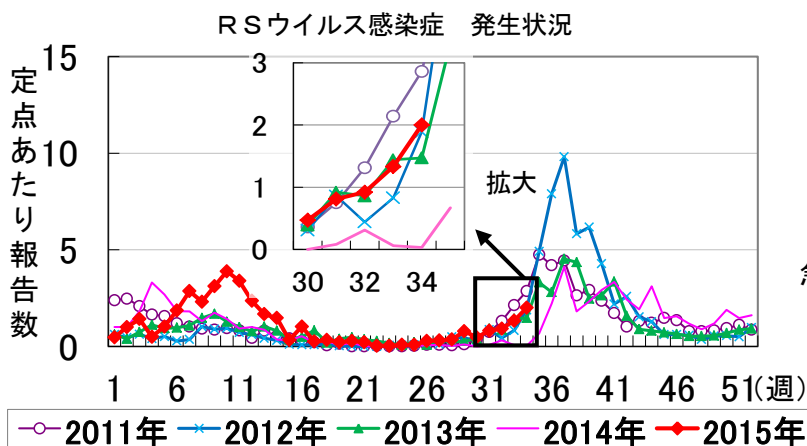
・定点医療機関からの報告総数 887人 (定点当たり 27.8) で、前週比 105%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

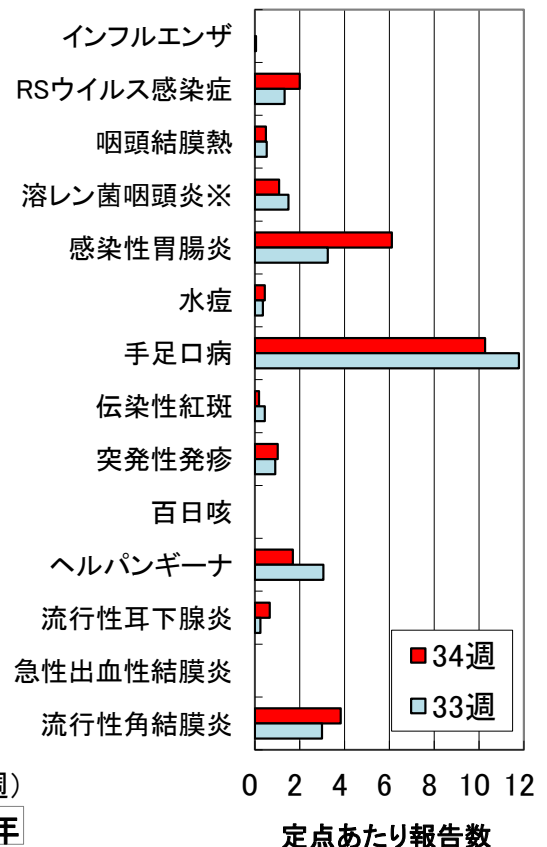
【RSウイルス感染症】

・報告数は72人 (2.0) で、前週比 150%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.7) の約 1.2倍であった。年齢別では1歳が全体の半数を占めた。

*過去5年間の当該週、前週、後週 (計15週) の平均値。



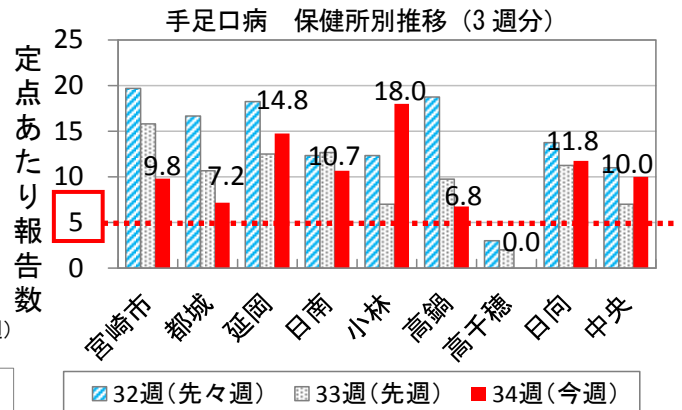
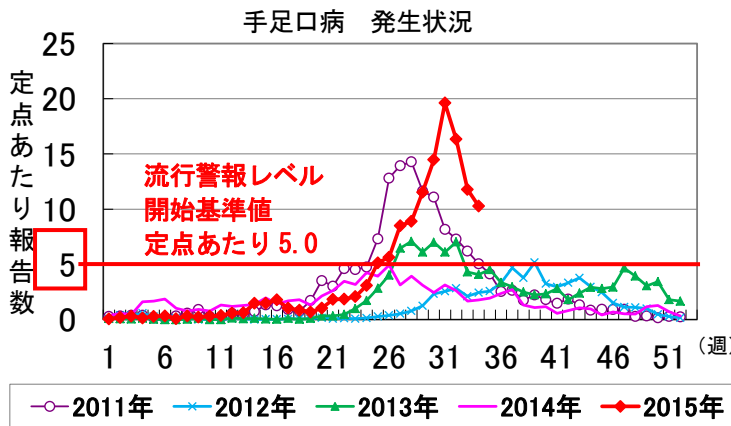
《前週との比較》



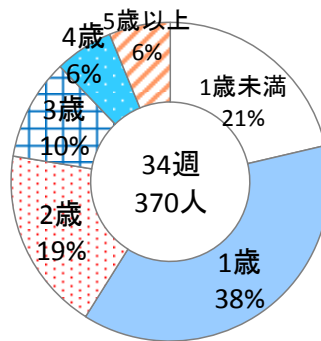
【手足口病】

・報告数は370人 (10.3) で、前週比 87%と減少した。流行警報レベル(5.0)を超過している。例年同時期の定点当たり平均値* (3.4) の約 3.0倍と多い。小林(18.0)、延岡(14.8)、日向(11.8)保健所からの報告が多く、年齢別は1歳以下が全体の約6割を占めた。

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



手足口病 年齢群別割合



★基幹定点からの報告★

報告なし。

★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(9.8)
都城	手足口病(7.2)
延岡	手足口病(14.8)
日南	手足口病(10.7)
小林	手足口病(18.0)、流行性耳下腺炎(4.3)
高鍋	手足口病(6.8)
高千穂	なし
日向	手足口病(11.8)
中央	手足口病(10.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

・手足口病(5.0)

＊流行注意報レベル基準値＊

・流行性耳下腺炎(3.0)

□ 病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成 27 年 8 月 24 日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(O115:H10 VT1)	50歳代	男	2015.7.23	無症状	便	2015.8.12
EHEC(O26:H11 VT1)	0~4歳	女	2015.8.5	血便、腹痛	便	2015.8.12
EPEC(OUT:H10)	—	女	2015.8.6	—	便	2015.8.14
EPEC(OUT:HNM)	0~4歳	男	2015.8.8	—	便	2015.8.17
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	10歳代	女	2015.8.11	発熱(40.0℃)、咽頭炎、肺炎	咽頭ぬぐい液	2015.8.12
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	5~9歳	女	2015.8.12	発熱(40.0℃)、肺炎	咽頭ぬぐい液	2015.8.14
<i>Salmonella</i> Typhimurium (O4:i:-)	0~4歳	女	2015.8.13	発熱(39.0℃)、出血性下痢	便	2015.8.19
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	20歳代	男	2015.8.13	発熱(37.9℃)、水様性下痢、腹痛	便	2015.8.19
EHEC(O26:H11 VT1)	5~9歳	女	2015.8.6	無症状	便	2015.8.18
EHEC(O157:H7 VT2)	70歳代	男	2015.8.12	無症状	便	2015.8.12

血便、腹痛などを呈した0~4歳の女兒、またその家族から腸管出血性大腸菌感染症 O26 が分離された。腸管出血性大腸菌感染症 O26 は、O157 と同様に感染力は高いが、無症状病原体保有者が多い傾向にあり、保育園などでの集団感染事例が多い。幼児や小児では重症化する恐れもあるため、今後の発生動向に注意していく必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状 等	検出材料	検出日
コクサッキーウイルスA6型 コクサッキーウイルスB4型	0～4歳	女	2015.6.29	手足口病、丘疹、37.8℃	咽頭ぬぐい液	2015.8.11
エコーウイルス3型	0～4歳	女	2015.6.30	ウイルス感染症、上気道炎、40.0℃	便	2015.8.11
エコーウイルス3型	0～4歳	男	2015.7.5	上気道炎、40.0℃	咽頭ぬぐい液	2015.8.11
エコーウイルス3型	0～4歳	男	2015.7.13	エンテロウイルス感染症疑い、 39.9℃、発疹、下痢	咽頭ぬぐい液	2015.8.17
パレコウイルス1型	0～4歳	女	2015.7.17	急性肝炎、上気道炎、39.0℃	便	2015.8.21
ヒトコロナウイルスOC43	0～4歳	男	2015.6.15	下気道炎、38.0℃、遷延性咳嗽	咽頭ぬぐい液	2015.8.19
ヒトコロナウイルスOC43	0～4歳	女	2015.8.10	細気管支炎、下気道炎、咳	咽頭ぬぐい液	2015.8.19
ライノウイルス	0～4歳	男	2015.7.14	ウイルス性発疹、発熱、鼻水、咳	鼻汁	2015.8.19
RSウイルス	0～4歳	女	2015.8.11	喘息様気管支炎、下気道炎、38.0℃	咽頭ぬぐい液	2015.8.18

○手足口病疑いの幼児1名からコクサッキーウイルスA6型(CA6)とコクサッキーウイルスB4型(CB4)が分離された。当所では、ウイルス分離に5種類の細胞を用いており、今回分離されたCA6とCB4は異なる細胞で分離された。エンテロウイルスは血清型により細胞の感受性に差があり、ウイルス分離を行う際に複数の細胞で実施することの有用性が現れた。

○下気道炎を呈した幼児1名と乳児1名からヒトコロナウイルスOC43(HCoVOC43)が検出された。現在、人で主に流行しているHCoVは、αコロナウイルスの229E、NL63、βコロナウイルスのOC43およびHKU1の4種である。HCoVは上気道炎などの呼吸器症状を呈するとされているが、国内のHCoV検出報告数は少なく、流行状況等は依然不明な点が多い。

📊 全国第33週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第33週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	342例				
3類感染症	細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	137例		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	3例
	つつが虫病	1例	デング熱	6例	日本紅斑熱	4例
	レジオネラ症	23例				
5類感染症	アメーバ赤痢	19例	ウイルス性肝炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	32例
	急性脳炎	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	14例	ジアルジア症	3例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	15例	水痘（入院例）	4例	梅毒	32例
	播種性クリプトコックス症	1例	破傷風	1例	風しん	4例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比70%と減少した。前週と比較して大きく増加した疾患はなかった。減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

手足口病の報告数は17,823人(5.9)で前週比66%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(2.7)の約2.2倍と多い。山形県(15.0)、新潟県(14.9)、長野県(13.7)からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は5,144人(1.7)で前週比65%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(2.1)の約0.8倍と少ない。山形県(4.4)、長野県(4.0)、和歌山県(3.8)からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第34週(8月17日～8月23日)

疾病名		第33週	第34週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3										
	定点あたり	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	48	72	34	27		5				6	
	定点あたり	1.33	2.00	3.40	4.50	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	18	1	8	1					8	
	定点あたり	0.53	0.50	0.10	1.33	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	54	39	6	6	10	7	1	1		3	5
	定点あたり	1.50	1.08	0.60	1.00	2.50	2.33	0.33	0.25	0.00	0.75	5.00
感染性胃腸炎	報告数	117	220	42	47	5	23	42	13	7	26	15
	定点あたり	3.25	6.11	4.20	7.83	1.25	7.67	14.00	3.25	7.00	6.50	15.00
水痘	報告数	13	16	7	1	2	1	1	1			3
	定点あたり	0.36	0.44	0.70	0.17	0.50	0.33	0.33	0.25	0.00	0.00	3.00
手足口病	報告数	424	370	98	43	59	32	54	27		47	10
	定点あたり	11.78	10.28	9.80	7.17	14.75	10.67	18.00	6.75	0.00	11.75	10.00
伝染性紅斑	報告数	16	7	2	3		2					
	定点あたり	0.44	0.19	0.20	0.50	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	37	10	6	4	4	5	4		4	
	定点あたり	0.92	1.03	1.00	1.00	1.00	1.33	1.67	1.00	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	110	61	8	13	8	9	2	6		15	
	定点あたり	3.06	1.69	0.80	2.17	2.00	3.00	0.67	1.50	0.00	3.75	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	9	24	5	2	3	1	13				
	定点あたり	0.25	0.67	0.50	0.33	0.75	0.33	4.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	18	23	11	7	5						
	定点あたり	3.00	3.83	3.67	3.50	5.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ口 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～34週)

2類感染症	結核	144例(3)										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	28例(2)										
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	5例	つつが虫病	3例						
	日本紅斑熱	7例	マラリア	1例	レジオネラ症	3例						
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例						
	急性脳炎	4例(1)	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例						
	後天性免疫不全症候群	13例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	4例						
	水痘(入院例)	2例	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	2例						
	破傷風	6例(1)										

()内は今週届出分、再掲